

## 第3回島田市総合計画審議会 会議要録

### 1 日時

平成28年12月14日（水）19:00～20:50

### 2 場所

島田市役所 4F 第三委員会室（南・北）

### 3 出席者

委員：朝比奈委員、大石委員、小倉委員、五條委員、白瀧委員、杉本委員、鈴木委員、園部委員、谷委員、名取委員、村田委員、森委員（五十音順）

事務局：牛尾理事、鈴木市長戦略部長、田中戦略推進課長、駒形係長、大和田、福山、小野係長、太田原

ランドブレイン株式会社 植野

傍聴者 1名

### 4 内容

（根本会長のご逝去の報告）

- ・平成28年10月22日、本審議会会長である根本静岡文化芸術大学副学長のご逝去の報告

（新委員の紹介）

- ・事務局より森俊太静岡文化芸術大学文化政策学部長を本日委員に委嘱したことについて紹介

（森委員挨拶）

- ・改めて根本先生のご冥福をお祈り申しあげる。根本先生とは大学でも同僚であった。総合計画の中身についてはこれからとなるが、この場を引き継がせていただく。

（総合計画策定業務委託についての説明）

- ・第2次総合計画策定業務委託の概要を説明

（資料確認）

- ・事務局より事前配付（資料1～8）・机上配付（別綴じ資料①～⑤）の確認

(副会長進行・あいさつ)

- ・冒頭の通り根本会長のご冥福をお祈りする。
- ・半年ぶりの会議開催となったが、前回同様、たくさんの資料を限られた時間でご審議いただき、ご意見等よろしく願います。

(会長選出)

- ・事務局より学識経験者枠より、森委員の推薦（委員一同了承）

(会長あいさつ)

- ・根本先生からの引き継ぎであり不安はあるが、島田市に教え子が何人かお世話になっており、これも何かのご縁と考えている。社会学の立場からではあるが、会長職を務めさせていただきたい。ご協力をよろしく願する。

(報告)

(1) 第2次島田市総合計画策定方針の確定

資料2、別綴じ資料①に基づき、駒形係長より説明

【質疑応答】

- ・特になし

(2) 市民意見の聴取について

資料3、別綴じ資料②-1、②-2、②-3に基づき、大和田主査より説明

【質疑応答】

A 委員：抽出された3,000名というのは、全18歳以上人口の何パーセントにあたるのか。

事務局：3.6%にあたる。なお、回答者数に対する割合は1.2%である。なお、3,000人抽出のうち、約1,000票回収という値は、統計上全市の傾向をあらわすサンプル数とみることができるものである。

B 委員：回答者の割合として、65歳以上の比率が高い。もう少し若い年齢層の意見をとる必要があるのではないか。（この割合で言えば30%程度は欲しいと思う）

事務局：今後、追加調査として、今度の「成人式」の際に、アンケート調査の実施を考えている。また、「30歳の同窓会」という場もあるので、そこでのアンケートなどの実施も検討している。

会 長：郵送配布回収のアンケート調査で約30%回収ができていればそれほど低い値ではないと思われる。年齢区分のクロス集計などで、年代別の回答の傾向などは分析できるはずである。

(3) 後期基本計画に掲げる目標値の平成27年度実績値について

資料4、別綴じ資料③に基づき、福山書記より説明

【質疑応答】

C 委 員：D評価となっているものについて、成果がなければ事業の取り止め等見直しが必要だと思われるが、見直しを図る場合の予算はどうなるのか。

事 務 局：例えば、No.4橋りょうの長寿命化、No.19橋りょうの耐震化というのは、成果がないというわけではなく、予算が付かず達成の見込みがつかないので見直すものになっている。目標としては高くあったが、実施には市の予算だけではなく、国や県の補助が必要であり、補助が減ったことにより実施数が減っている。

新島田市民病院建設に係る進捗率においては、着実に事業を実施しているが、当初設定した基準値及び、めざそう値と差が大きいため、評価なしとなってしまっている。

観光交流人口のような内容は予算と直接的に連動はないが、当初設定した基準値と目標値において達成は無理であり、設定値を考えなければいけないもので、D評価としている。

この通り、予算の連動があるものと無いものが含まれているということでご理解頂きたい。

会 長：後日に読み込んで頂き、その後でも何かあれば事務局までお寄せ頂きたい。

(4) 市の現状や将来性の調査・分析を受けての市の課題について

資料5、資料6、別綴じ資料④に基づき、ランドブレイン株式会社（植野）より説明

【質疑応答】

D 委 員：資料5のSWOT分析で言っている、改善戦略の「市民のまちづくり等への参加意欲の喚起」と改革戦略の「地域住民主体による生活に身近なまちづくりの展開」の違いは何か。

ランドブレイン：市民全体に対する何らかの「まちづくり」に関わる意欲の喚起のことと、一方は地域の特性に応じた「地域ごとのまちづくり」を進める部分としている。

E 委員：成長戦略の緑茶化計画の推進というところにのみ「島田市の特産品」と「島田」の文字とあるが、その他部分のほとんどが、島田市でなくとも当てはまる事に見える。参考に他の市などで作成した同様の内容があったら見せて頂きたい。もう少し観点、の違う発想のある提案なり参考になるものがあれば見せて頂きたい。

ランドブレイン：他の作成事例については準備させて頂きたい。

F 委員：資料6の中で「環境」、「自然」というキーワードがみられるが、必ずしも良好なのではなく荒廃もみられる。実態をよく観察してもらうことが必要。

B 委員：成長戦略の内容に「観光」という言葉が出てこない。祭りなども含めて観光的な要素は多いと思う。

ランドブレイン：観光振興の視点も追記させて頂きたい。

会 長：観光の視点と自然環境（環境の変化について）といったことも可能であれば少し加えて頂きたい。

G 委員：島田市緑茶化計画に係るコンサルタント事業者との関係はどうか。

事 務 局：総合計画策定との関係は無いが、そちらの方へ意見を伺う機会はあるかもしれない。

G 委員：成長戦略の方には、今少し思い切りのいい提案が欲しいと思う。

事 務 局：第2次総合計画の議題としては今回の「基本構想」、さらに「基本計画」をお願いしていくなかで、具体の取り組み内容としては「基本計画」の内容として今後検討していきたい。

#### （5）次期島田市総合計画策定に向けての提言について

別綴じ資料⑤に基づき、駒形係長より説明

#### 【質疑応答】

副 会 長：マイクが口元から離れていると発言を拾えない場合があるようなので、マイクに近付いて発言頂くよう各委員にご留意願う。

もう一点、本日も相当の資料数になっているが、やはり当日では内容確認に無理があるので、改めて資料の事前送付をお願いしたい。

事 務 局：資料については会議開催1週間前発送など図っていきたい。

(議題)

(1) 基本理念と将来像について

資料7、資料8に基づき、大和田主査より説明

【質疑応答】

副会長：大綱に示す「分野」として「安全・安心」が出ており、今回の「将来像」と同じ言葉があるため、将来像で言うのであれば、他の分野の言葉も含めることが出来るよう、もっと包括的な言葉の方がいいのではないか。

C 委員：大綱に示す各分野は今回、並列表記になっているが、「安全・安心」を基盤に据える（下の土台に位置する）とするなら、将来像案につながりやすいとも思える。「実感都市」となっている「都市」という言葉が皆さんの実感として島田市は「都市」としてイメージされているか、というと少々どうかと思われる。

B 委員：将来像の言葉の実感として（ピンと）来ない、「込めた思い」として書かれた内容（4行目、あたたかさなどの件）についても、この漢字のみのフレーズで反映されているようにも見えず、警察署などのキャッチコピーの様に見える。安全・安心という漢字だけでは、島田の魅力が伝わらないという気がする。

事務局：この将来像案は各方面から頂いたご意見、ご提案を包含できるようにしていった結果としてご覧頂いている。

G 委員：「観光」はこの大綱のどこに含まれるか。キーワードとして入っていた方がいいのではないか。

事務局：大綱案では「地域経済」に含まれているが、今のようにご意見をもらいながら、7つの分野はこれからまた検討していく段階である。

F 委員：将来像で言っている「安全安心」というものに込められている内容は分かる気がする。大綱の方の言葉を何かに変えればいいのではないか。

G 委員：将来像案は「硬い」というのが第一印象で、誰に対して発信しているものかが見えないと感じる。8年使うものだということなら、なるべく子供たち（誰にでも）にもわかりやすく浸透するようなフレーズとしたい。

副会長：以前の審議会では、出てきた資料に意見するだけでなく、審議会としても何か提案していくような話もあったと思う。『笑顔 あふれる 安心都市 島田』を提案したい。

A 委員：前回将来像に関するアンケート結果があるが、そこから見えるのは、このようなフレーズというのは市民にはあまり伝わっていないことである。今回新たに策定するならば、今のご提案のように抽象的な方がいいと思う。

D 委員：以前にある人から「安全」は数値化できるもの、「安心」は人と人との問題であるということをお話してもらったことがある。安心、安全という語に対して、人それぞれ尺度が違って来るだろうと感じた。「笑顔あふれる」のようなフレーズの方が、誰もが尺度が具体化できて、わかりやすいのだろうと思う。

C 委員：結局、この島田のまちで、どういうふうに生きていきたいのかと思ったとき、自分の人生が描けるかどうか、という所に掛かってくると思うので、『ひとりひとりが自分のまちで人生を描いていけるまち』のようなものを提案したい。

自身の行政との関りから、だんだん行政が市民寄りになってくださっており、他所から来た者として、暮らしやすいまちになっていることに実感がある。将来像の「安全・安心」の文言については、行政にはそれぞれ担当部局があるが、市民ひとりひとりにとっては一本の流れであり、それぞれの部局との関わりがありつつも根底には「安全・安心」があると捉えることができる。そこで自分の人生がポジティブに描いていけること、というのが将来像のイメージとしてある。

会長：さて、この場で本日の「まとめ」というのは厳しいところだが、この「将来像」と「込めた想い」というのは双方セットになって、基本構想に書き込まれるはずなので、「込めた想い」の内容にできるだけ盛り込んでいく形で、修正・訂正を進めて、次回は基本構想案に含めて、またご覧頂きたいと思う。

本日の議題の事前確認で、私から直接漢字ばかりで「硬い」印象のこと、使用するフォントの工夫等についても言及しているが、以後将来像の修正協議については、私と事務局に預らせて頂きたい。(委員一同了承)

以上で本審議会を終了とする。

(その他 事務局より)

- ・次回審議会開催について（2月8日予定）
- ・将来像の修正は次回審議会開催前のタイミングに各委員に報告できるようにしたい。
- ・次回の審議会では、基本構想原案をご提示する。
- ・事前に資料の配布を行う。

20：50 会議終了